



はていはてい

HATI-HATI



HATI-HATIはインドネシア語で相手を思いやる時に使うやさしいことばです。



防災体験会、土曜日イベントの写真



現場で活躍する特定技能・技能実習生の皆さんが、一步步ステップアップできる楽しい学習の場を開放しています。

【木曜日・金曜日】日本語検定&介護福祉士国家試験対策 試験合格を目指して、みんなで集中して勉強します。分からないところは一緒に解決していきましょう！

【土曜日】日本学習&日本文化体験・イベント 多国籍の仲間たちが大集合！日本の文化に触れたり、楽しいイベントや勉強会をとおして、みんなで賑やかに交流しています。みんなで楽しみながら勉強しましょう！これからも、皆さんの「学びたい！」に寄り添うトレーディングケアであり続けます。

日本の職場文化－「自分で考えて動く」ことの難しさ

トレーディングケア 小笠原広実

日本の多くの職場では、指示を待つのではなく、自分で考えて行動できる人が評価される傾向があります。また、手が空いたときには自ら周囲を見て、他の人を手伝うことも期待されます。さらに、任された仕事ができるようになった後も、知識や技術の向上に努めることが大切とされています。しかし、こうした働き方は日本独特のものだと感じた経験があります。

以前、インドネシアのクリニックで、能力のある看護師にある仕事を依頼したことがありました。ところが、その看護師から「なぜその仕事をしなければならないのですか。それは私の仕事ではありません」と強く断られ、戸惑ったことがあります。後で知ったのですが、インドネシアでは就職時の契約書に業務内容がかなり具体的に記載されており、契約がない仕事は行わなくてよいという考え方が一般的だそうです。職場で人を育てながら仕事の幅を広げていくというより、その仕事が

できる人を、それに見合った待遇で雇うという考え方のようでした。日本で働く外国人介護士たちが、「言われたことしかやらなくて困る」と言われたり、反対に、まだ技術確認が終わっていないのに「勝手にやって困る」と注意されたりする場面を見てきました。彼らの多くは、自分の担当業務が明確に決められた環境で働くことが当たり前の社会で育っています。そのため、周囲の状況を見ながら手伝う仕事を探し、自主的に行動することは簡単ではないのかもしれません。

日本人の新人看護師も「何をどこまで一人ですればよいのかわからない」と悩みながら成長していきます。すぐに相談できる先輩が近くにいればよいのですが、忙しそうに働いている先輩に声をかけることは、とても勇気がいることのようにです。外国人に限らず、何をどのように行えばよいのかを分かりやすく伝える力が、これからの現場の指導者にはますます求められるのではないのでしょうか。

【生き易くする力】としての【日本語学習】続き

日本語教師 林三郎
 前回のコラムで「生き易くする力」としての日本語学習に触れました。では、具体的に日本語学習が金銭的にみるといくらかの価値があるのでしょうか。最近のデータや、厚生労働省が公表した外国人雇用実態調査の分析で見ますと、日本語が上達している人（日本語能力テストJLPTでN1～N2以上）とそうでない人（同N3以下レベル）の間には、月額でおおよそ5万円、年収換算で少なくとも数十万～100万以上の差があるそうです。つまり、「日本語ができる人ほど収入が高い」という傾向がはっきりと示されています。ここで重要なことは、会話能力だけでなく、読解能力においてもレベルが上位（母国レベルに近い）になるほど時給や平均賃金が高くなること確認されています。日本語が上達すれば「指示を受けるだけの仕事」から、「指示ができる仕事」例えば現場リーダーや日本語顧客との折衝などを任せられるようになり、キャリアアップし、昇給にもつながります。（ただし、一部の高度な専門スキルを持つITエンジニア、外資系企業の駐在員、大学の研究者など、仕事上英語のみで完結し日本語を一切必要としない高度な専門職のような例外が一部にあります。）日本で日本語を学ぶということは生活基盤や人生設計そのものを豊かにする大きな力を持っていると言えます。私たちの役目は、日本語を学習されている皆さんの日本語力を高め、生き易くする力をさらに身に付けていただくことです。そのためには学習者の学習意欲を向上させる力と、指導技術（特に読解力を高める力）を磨くことです。それは学習者や学習者の母国のためばかりでなく、日本の将来のためにも重要なことであると考えます。

【日本語でつながる、共に成長する時間】

神谷大地
 毎週土曜日に行われている日本語クラスでは、高浜市に住む外国人の方々と一緒に日本語を学んでいます。初めて参加した頃は簡単な会話でも言葉が出てこなかったり、相手に伝えることに苦労している様子が見られました。しかし、毎週顔を合わせるたびに少しずつ会話が上達し、今では自分から日本語で質問したり、日常生活であった出来事を話してくれることも増えました。その成長を間近で見ることができるのは、とても嬉しく感じます。また、日本語を教えることは、単に言葉や文法を伝えることではなく、お互いの文化や考え方を知るきっかけにもなっています。分からないことは一緒に考え、言いたいことが伝わった時の表情を見ると、言葉を通して人と人がつながる大切さをより実感することができます。私自身も、相手にわかりやすく伝える難しさや、相手の立場に立って考えることの大切さを学んでいます。これからも、一人ひとりの成長に寄り添いながら、日本での生活が少しでも安心できるものになるように関わっていきたいです。



【ミャンマーから来る4人へオリエンテーションを実施！】

アンジー

先日、4月の現地面接で日本へ来ることがきまったミャンマーの4人（ウィンさん、エイさん、スーさん、ナンダーさん）に対して、入国前のオンラインオリエンテーションが実施されました。皆さんには、日本でより良い介護ができるようにこれから自分たちを高めていくことを、トレーニングケアのスタッフ一同、そしてなにより受け入れ先の施設様が応援している旨を伝えました。オリエンテーションの通訳としては、つながりながらセンターに以前より来てくれているモンさんが大活躍してくださいました。さまざまな方の協力と想いがあるミャンマーの皆さんの実習が実現するのだと改めて感じる機会となりました。



編集後記

高浜市では外国人市民の割合が10%を超え、皆様の周りには必ずと言っていいほど外国の方がいらっしゃるかとおもいます。全国的にみても、上位5位に入る割合だそうで、私たちの活動はたくさんの方々の注目を浴びることになるでしょう。戦争のない未来を子どもたちに残していくために、高浜市民が一丸となって他者を思いやり、尊重し、認め合い、成長していく姿を示していけたらと願わずにはられません。

内藤洋子



@TRAD.INGCARE



@TSUNAGU_TAKAHAMA



公益社団法人トレーニングケア
 〒444-1303
 愛知県高浜市小池町6-5-6
 TEL 0566-57-7700
 FAX 0566-57-7700
 日・月・祝日はお休みです。